

科目名		一般構造 II			
担当教員		広川 智子		実務授業の有無	有
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築を考えるうえで一般構造の基礎的な仕組みを理解しておく必要があります。そのために授業では、S造とRC造を中心に解説します。S造とRC造を理解でき、説明できるようになることを目指します。授業の進め方は、講義→2級建築士の試験問題→解説を繰り返します。約4回の授業毎に評価テストを実施し、理解度を確認します。			
学習目標 (到達目標)		前期はS造とRC造を中心に学び、2級建築士学会試験の科目範囲の合格点に達するための理解を目指します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説やさしい建築一般構造 著者：今村仁美・田中美都 発行：(株)学芸出版社 ②配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	鉄骨造-1 ①鉄骨造の特徴 ②構造形式			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
2	鉄骨造-2 ①接合部 (リベット、普通ボルト、高力ボルト)			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
3	鉄骨造-3 ①接合部 (溶接)			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
4	鉄骨造-4 ①部材の設計 ②各部の構造			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
5	鉄筋コンクリート造-1 ①コンクリートの特徴 ②コンクリートの強度			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
6	鉄筋コンクリート造-2 ①鉄筋の特徴 ②鉄筋コンクリート造の基礎知識			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
7	鉄筋コンクリート造-3 ①鉄筋の配筋計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
8	鉄筋コンクリート造-4 ①せん断補強筋比の計算			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
9	その他の構造 ①SRC造・補強コンクリートブロック構造 ②組積造・プレストレストコンクリート造			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	期末試験	取組姿勢		社会に出てからの実務や建築士試験を受験するときに不可欠な、建築一般構造について解説します。 2年の前期はS造、RC造について仕組みを中心に説明し、評価テストで理解度を確認しながら合格基準への到達を目標とします。 取組姿勢：授業態度、欠席、遅刻など総合的に判断します。	
40 %	50 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		住宅設計に10年以上従事			